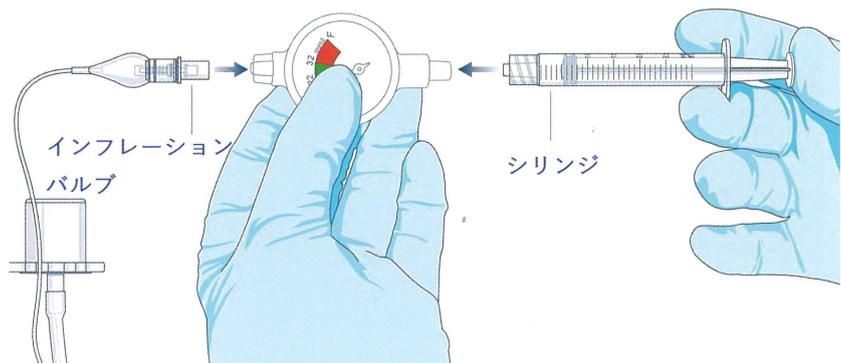


カフ圧メーター「シュアーカフ」 for Vet

挿管の間、気管内チューブのカフ圧はつねに適正に維持されていますか？

単回使用のはずの気管内チューブで、カフ圧を長時間一定に保つことは困難です。カフ圧の不足は分泌物の垂れ込みや強制換気時のリークの原因になります。

シュアーカフは適正なカフ圧を促し、常時モニターし、必要に応じて挿管中にカフ圧を再調整することができます。



■使用方法

気管内チューブのインフレーションバルブにシュアーカフを接続し、シリンジでカフ圧を調整します。インジケータの位置で現在のカフ圧を確認することができます。

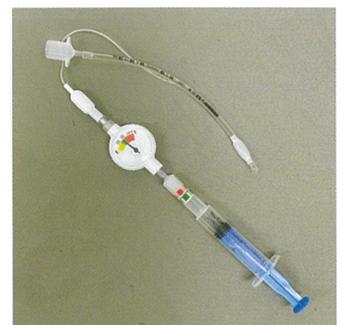
挿管中にカフ圧が低下した場合でも、抜管することなく挿管したままで、カフ圧を適正圧に再調整することができるため、長時間のオペでも安心です。

■主な仕様

- ▶ **グリーンゾーン**：22～32 ± 2cmH₂O **レッドゾーン**：32 ± 2cm H₂O～
- ▶ インジケータがレッドゾーンに入ると過圧の目安です。
- ▶ 電源不要で繰り返し使用することができます。
- ▶ 1個入り

※大容量・低圧カフ付きの気管内チューブに使用できます。

※シリコン製気管内チューブには使用できません。



トゥルーカフとシュアーカフ

株式会社キムラメド

住所 〒120-0022 東京都足立区柳原1-9-13-1F

電話 03-5849-3192 FAX 03-5849-3193

✉ tec@kimuramed.com <http://www.kimuramed.jp/>



ホームページQRコード

